

2020年10月9日

神戸市における SIB を活用した糖尿病性腎症等重症化予防事業の 最終評価および総括レポート公表

一般財団法人社会変革推進財団（理事長：大野修一、所在地：東京都港区、以下 SIIF）は、神戸市（市長：久元喜造）が 2017 年 7 月に導入した糖尿病性腎症等の重症化予防の「ソーシャル・インパクト・ボンド（以下、SIB）」事業が 2020 年 3 月に終了したことを受け、経済産業省と共同でまとめた総括レポートを公表しました。

本事業では、プログラム修了率、生活習慣改善率、腎機能低下抑制率の 3 つを成果指標として第三者評価機関が評価を行い、その評価結果に応じた委託料を神戸市が支払うことにより、資金提供者に償還が行われました。評価指標のうち、プログラム修了率及び生活習慣改善率は目標値を大きく上回った一方で、腎機能低下抑制率は目標値には到達しませんでした。

上記の通り、全ての成果指標を上回ることはできなかったものの、第三者評価機関が作成した最終成果評価報告書では、BMI などの副次的評価項目がプログラム実施前より改善したため、本事業に一定の成果があることが確認されました。また、総括レポートでは、資金提供者、中間支援組織の事業の参画により、サービス提供者における成果の創出や事業の質が向上したことを認識しています。

今後は、対象者の設定や評価指標の設計など、日本初の SIB 事業である本件を通じて得られた学びを活かし、他の地方自治体などの行政機関とも協働をしつつ、社会課題の解決に向けた SIB の推進に一層努めて参ります。

詳細は、神戸市が公表する「神戸市における SIB を活用した糖尿病性腎症等重症化予防事業最終評価の公表について」（下記）をご参照ください。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a52670/shise/press-kokuho/285899713507.html>

神戸市 SIB について

「SIB を活用した糖尿病性腎症等重症化予防事業」は、糖尿病性腎症等の罹患患者で将来人工透析に至るリスクが高い未受診および治療中断中の約 100 名を対象に、受診勧奨及び保健指導により重症化を予防する事業として、神戸市民の健康寿命の延伸と QOL（Quality Of Life）の向上、

◎本件に関するお問い合わせ

一般財団法人社会変革推進財団 関岡 TEL：03-6229-2622 / E-mail: media@siif.or.jp

ならびに医療費の適正化を目指し、2017年7月に実施されました。SIIFは資金提供を行い、また、中間支援組織として案件の組成に携わりました。

SIBとは

- 地方公共団体等が、民間事業者に委託等して実施させる事業のうち、その事業により解決を目指す「行政課題」に対応した「成果指標」が設定され、地方公共団体等が当該行政課題の解決のためにその事業を民間事業者に委託等した際に支払う額等が、当該成果指標の改善状況に連動する事業のことを、成果連動型民間委託契約方式（PFS：Pay For Success）としています。
- そのPFSの一類型として、SIBがあります。PFSによる事業を受託した民間事業者が、当該事業に係る資金調達を金融機関等の資金提供者から行い、その返済等を成果に連動した地方公共団体からの支払額等に応じて行うものです。

添付資料

- 未来工学研究所による最終成果評価 報告書（令和2年3月）
- 経済産業省及び一般財団法人社会変革推進財団による事業総括レポート（令和2年10月）

社会変革推進財団（SIIF）について www.siif.or.jp

社会課題の解決と多様な価値創造が自律的・持続的に起こる社会を目指し、自助・公助・共助の枠組みを超えた社会的・経済的資源循環のエコシステムの実現を目指します。ソーシャル・インパクト・ボンドをはじめとするインパクト投資のモデル開発や実践、普及のための環境整備、調査研究・政策提言に取り組んでいます。

©本件に関するお問い合わせ

一般財団法人社会変革推進財団 関岡 TEL：03-6229-2622 / E-mail: media@siif.or.jp